



りあす丸便り #3

操業編

本船順調に調査操業を続けており、本日2/7(水)で8回目となりました。太陽の直射を受けて生徒も真っ黒(真っ赤?)に日焼けをしています。ただし操業中は長袖の上にカップとヘルメットの重装備であるため、日焼けも首から上のみ。



(枝縄を巻く山崎君)

まぐろはえ縄は朝6時に投縄を開始します。その後、13時45分に揚縄を始め、終了は23時頃。このサイクルを毎日繰り返します。ようやくこのサイクルになれてきました。各班、投縄作業、航海当直、揚げ縄作業に分かれて実習をこなしていきます。



(投縄作業)

1/29の初回では、初めて見る生きたマグロに、大きな歓声が上がりました。

また、2/4(日)5回目には、現在の海域では珍しい182cm・97kgの大物メバチが獲れ興奮しきりでした。



(左から中西君、中村君、阿部君。大物メバチ)

デッキでの作業もブラン(枝縄)の修繕を始め、魚の体長測定など直接魚に触る機会もあり、積極的に作業に参加しています。取れたマグロが入っている凍結庫の見学では、マイナス40℃の世界が待っています。



(冷凍作業に行ってきます。)

左から佐々木康生君、橋本君、太田君) また、操業終了後のお楽しみは、マグロの心臓やエラ身などを食堂で食べることです。船でしか食べられない味にご満悦でした。

今のところ体調を崩す生徒もおらず、無事に楽しく操業を続けています。遊ぶときは遊ぶ、働くときは働くというメリハリが船では重要です。今は働くとき、がんばって操業を乗り越えれば、きっとホノルルが楽しく迎えてくれることでしょう。

2月7日(水) (製作: 指導教官 福士)



全員では無いですが生徒の写真を出せる
限り掲載します。



